

1. 化学品及び会社情報

化学品名の名称 (製品名)	ディスオーパ®消毒液 0.55%
会社名	ASP Japan 合同会社
住所	港区港南2丁目15番2号
電話番号	03-6712-1011
メールアドレス	ASP-JPQA@asp.com
24時間緊急電話	CHEMTREC 日本: 03-4520-9637 CCN 795874
CHEMTREC -	国際: +1 703-741-5970
整理番号	DISOPA_Solution_JP-1
製造元	
米国会社名	Advanced Sterilization Products Inc.
住所	33 Technology Drive Irvine, CA 92618
電話番号	+1-888-783-7723
推奨用途及び使用上の制限	
推奨用途	化学的殺菌・消毒剤
使用上の制限	医療用器具・機器・装置専用

2. 危険有害性の要約

GHS分類

健康に対する有害性	皮膚感作性: 区分 1A
環境有害性	水生環境有害性 短期(急性): 区分 3 水生環境有害性 長期(慢性): 区分 3

(注) 記載なきGHS分類区分 区分に該当しない/分類できない

GHSラベル要素

絵表示



注意喚起語

危険有害性情報

警告

アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
長期継続的影響によって水生生物に有害

注意書き

安全対策

環境への放出を避けること。
ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。
保護手袋を着用すること。

応急措置

汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
特別な処置が必要である。
皮膚に付着した場合: 多量の水/適切な薬剤で洗うこと。
皮膚刺激又は発しん(疹)が生じた場合: 医師の診察/手当てを受けること。
汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

廃棄

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

3. 組成、成分情報

化学物質・混合物の区別 混合物

成分名	CAS No.	含有量 (%)	化審法番号
フタラール	643-79-8	0.55	3-1145

注記: これらの値は、製品規格値ではありません。

この成分表に記載なき成分は、日本政府によるGHS分類結果一覧に記載されていません。

危険有害成分： 毒物及び劇物取締法， 安衛法「表示、通知すべき有害物」， 化管法に該当する危険有害成分なし

4. 応急措置

吸入した場合 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
直ちに医師の診察/手当てを受けること。

皮膚(又は髪)に付着した場合 皮膚に付着した場合：多量の水/適切な薬剤で洗うこと。
皮膚刺激又は発しん(疹)が生じた場合：医師の診察/手当てを受けること。

眼に入った場合 水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。
その後も洗浄を続けること。
医師の診察/手当てを受けること。

飲み込んだ場合 口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
コップ1-2杯の牛乳又は水を与えて胃内で薄める。吐き出させてはならない。
医師の診察/手当てを受けること。

急性症状及び遅延性症状の最も重要な徴候症状
(吸入もしくは飲み込んだ場合の症状)
吐き気
胃腸障害
腹痛
下痢
頭痛
咳
呼吸困難

(皮膚に付着もしくは目に入った場合の症状)
刺激性
皮膚の乾燥
眼刺激

医師に対する特別な注意事項 経口暴露により粘膜が損傷した場合、胃洗浄を行ってはならない。
特別な処置が必要である。

5. 火災時の措置

消火剤
適切な消火剤 周辺設備に適した消火剤を使用する。
使ってはならない消火剤 データなし

消火を行う者への勧告
特有の消火方法 関係者以外は安全な場所に退去させる。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置
保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
消火作業従事者は全面型陽圧の自給式呼吸保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置
関係者以外は近づけない。
回収が終わるまで十分な換気を行う。
適切な保護具を着用する。

環境に対する注意事項
封じ込め及び浄化の方法及び機材
下水、排水中に流してはならない。

不活性の物質(乾燥砂、土など)に吸収させて、容器に回収する。
多量に流出した場合、盛土で困ってのち処理する。
回収物はラベルを貼って密閉容器に保管する。
漏洩物を中和するには、こぼれた本製品1ガロン(3.8L)に対し、約25gのグリシン(遊離塩基)粉末を撒き、モップなどの道具を使ってグリシンと漏洩物を完全に混ぜる。フタラールが不活化されるまで、5分程度放置する。中和された残留物および廃棄可能な清掃用具はすべて、適切な容器に入れて密閉する。漏洩した場所と使用した道具は石鹼水で洗い、水ですすぐこと。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い
技術的対策
(取扱者の暴露防止) ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。

会社名: ASP Japan 合同会社 品名: ディスオーパ®消毒液 0.55%
DISOPA_Solution_JP-1SDS-CZ-2 版番号: 01 改訂日: - 発行日: 2021/10/11
Item Revision: SDS-116520-JP:A on CO-P-0001946

SDS Japan

(注意事項)	皮膚に触れないようにする。 眼に入らないようにする。
安全取扱注意事項	保護手袋を着用すること。 指定された個人用保護具を使用すること。
接触回避 衛生対策	強酸、強塩基、強酸化性物質との接触を避けること。 眼、皮膚、衣類につけないこと。 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。 取扱い後はよく手を洗う。
保管	
安全な保管条件	換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。 涼しいところに置き、日光から遮断すること。 乾燥した場所に保管すること。 指定温度以下の温度で保管すること。涼しいところに置くこと。 上限保存温度 :30℃ 下限保存温度 :1℃
(避けるべき保管条件)	高温を避けること。
安全な容器包装材料	遮光性ポリエチレン容器

8. 暴露防止及び保護措置

管理指標	管理濃度データなし
許容濃度	日本産衛学会の許容濃度データなし (フタラール) ACGIH(2019) TWA: SL 25 $\mu\text{g}/100\text{m}^2$; STEL: 上限値 0.1ppb(V) (眼, 皮膚及び気道刺激, 呼吸感作; 過敏症)
特記事項	(フタラール) 皮膚吸収; 皮膚感作性; 呼吸器感作性 <メーカー推奨値> ・最長15分間における曝露許容濃度148 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ (0.027ppm) (1日4回以内、又それぞれの間に60分以上の間隔が必要) ・1日8時間/週40時間労働して毎日繰り返し曝露しても悪影響を受けることがない時間荷重平均濃度 19 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ (0.0035ppm) ※本推奨値は安全使用上の目安であり、必ずしも安全性を保証するものではない。
暴露防止	
設備対策	適切な換気のある場所で取扱う。 排気/換気設備を設ける。 洗眼設備を設ける。 手洗い/洗顔設備を設ける。
保護具	
呼吸器用保護具	換気が不十分な場合、呼吸用保護具を着用すること。
手の保護具	保護手袋を着用する。推奨材質：ニトリル、PVC、ラテックス
眼の保護具	側面シールド付安全メガネまたは化学品用ゴーグルを着用する。
皮膚及び身体の保護具	保護衣を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理的及び化学的性質に関する情報

物理状態	液体
色	淡青色透明
臭い	無臭、又はわずかにアルデヒド臭
pH	7.2 - 7.6
物理的状態が変化する特定の温度/温度範囲	
沸点又は初留点	100℃
沸騰範囲	データなし
融点/凝固点	0℃
分解温度	データなし
可燃性(ガス、液体及び固体)引火性なし	
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界データなし	
引火点	燃焼しない
自然発火点	データなし

分解温度	データなし
動粘性率	データなし
溶解度	
水に対する溶解度	溶ける
溶媒に対する溶解度	データなし
n-オクタノール/水分配係数	データなし
蒸気圧	データなし
密度及び/又は相対密度	1.0003
相対ガス密度(空気=1)	データなし
粒子特性	適用外

10. 安定性及び反応性

反応性	データなし
化学的安定性	通常の保管条件/取扱い条件において安定である。
危険有害反応可能性	危険有害反応可能性データなし
避けるべき条件	直射日光、高温体との接触を避ける。
混触危険物質	強酸、強塩基、強酸化性物質
危険有害な分解生成物	危険有害な分解生成物データなし

11. 有害性情報

毒性学的影響に関する情報

急性毒性

製品の急性毒性（経口）	ラット LD50 > 5,000 mg/kg
製品の急性毒性（経皮）	ウサギ LD50 > 2,000 mg/kg
急性毒性（経口）	[日本公表根拠データ]（フタラル） rat LD50=121 mg/kg (ACGIH 7th, 2019)
急性毒性（経皮）	[日本公表根拠データ]（フタラル） rat LD50 >2000mg/kg (REACH登録情報, Access on Aug. 2019)

局所効果

皮膚腐食性/刺激性	[日本公表根拠データ]（フタラル）ラビット 紅斑スコア 1.8, 浮腫スコア 2.9, 14日後にも痂皮及び癒痕が残る (OECD TG404) (REACH登録情報, Access on July 2019)
-----------	---

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

[日本公表根拠データ]（フタラル）ラビット 皮膚腐食性 区分1 (REACH登録情報, Access on July 2019)

呼吸器感作性又は皮膚感作性

呼吸器感作性	[日本公表根拠データ]（フタラル）cat. 1; NTP TR84, 2018
皮膚感作性	[日本公表根拠データ]（フタラル）cat. 1A; ACGIH 7th, 2019
生殖細胞変異原性	データなし
発がん性	データなし
生殖毒性	データなし

特定標的臓器毒性

特定標的臓器毒性（単回ばく露）	データなし
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	データなし
誤えん有害性	データなし

12. 環境影響情報

水生毒性

水生環境有害性	長期継続的影響によって水生生物に有害
水生環境有害性 短期(急性)	[日本公表根拠データ]（フタラル）藻類（セレナストラム） EC50=0.184mg/L/96hr (U.S. EPA: OPP Pesticide Ecotoxicity Database, 2019)

残留性/分解性	データなし
生体蓄積性	データなし
土壤中の移動性	データなし
オゾン層への有害性	データなし

13. 廃棄上の注意

会社名: ASP Japan 合同会社 品名: ディスオーバ®消毒液 0.55%
 DISOPA_Solution_JP-1SDS-CZ-2 版番号: 01 改訂日: - 発行日: 2021/10/11
 Item Revision: SDS-116520-JP:A on CO-P-0001946

SDS Japan

化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報
廃棄物の処理方法

環境への放出を避けること。

承認された廃棄物集積場で処理する。

下水、地中、水中への廃棄を行ってはならない。

水で十分に希釈する、またはグリシンで不活化したのち、地方/国の規則に従って廃棄すること。

汚染容器及び包装

内容物を使い切ってから、容器を廃棄すること。

14. 輸送上の注意

国連番号、国連分類

国連番号またはID番号 該当しない

正式輸送名 該当しない

分類または区分 該当しない

容器等級 該当しない

IMDG Code (国際海上危険物規定) 該当しない

IATA 航空危険物規則書 該当しない

環境有害性

MARPOL条約附属書III - 個品有害物質による汚染防止

海洋汚染物質 (該当/非該当) : 非該当

バルク輸送におけるMARPOL条約附属書II 改訂有害液体物質及びIBCコード

本品はバルク輸送されない。

国内規制がある場合の規制情報

船舶安全法に該当しない。

航空法に該当しない該当しない。

15. 適用法令

当該製品に特有の安全、健康及び環境に関する規則/法令

毒物及び劇物取締法 該当しない

労働安全衛生法 該当しない

化学物質管理促進 (PRTR) 法 該当しない

消防法 該当しない

化審法 該当しない

16. その他の情報

参考資料

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, UN

Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 21th edit., 2019 UN

IMDG Code, 2018 Edition (Incorporating Amendment 39-18)

IATA 航空危険物規則書 第62版 (2021年)

2020 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK (US DOT)

2021 TLVs and BEIs. (ACGIH)

JIS Z 7252 : 2019

JIS Z 7253 : 2019

2020 許容濃度等の勧告 (日本産業衛生学会)

Supplier's data/information

GESTIS-Stoffdatenbank

Pub Chem (OPEN CHEMISTRY DATABASE)

責任の限定について

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。ここに記載したGHS分類区分の算定根拠は現時点における日本公表データ (NITE 令和2年度 (2020年度)) です。